

学校の教育目標 1 自ら学び、真理を究める 2 自ら律し、他を尊重する 3 自ら拓き、社会に貢献する

月	主な学校行事	日付	画	主題名	資料名	内容項目	おらい	主な発問
4	入学式	4月12日	1	自立心、自律性	この人生の主人公	A-1自主、自律、自由と責任	「この人生の主人公」の時から自分の人生を主体的に生きることについて考えることを通して、自立心や自律性の大切さに関付き、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してこうとする道徳的実践意欲を培う。	○P2～3「自分を見つめよう―道徳の時間とは―」を範読し、道徳科の学習のイメージをもたせる。 ○自分の人生を「主人公」として生きるとは、どういうことなのだろう。 ○自分の人生を「主人公」として生きるためには、どのようなことが大切なのだろう。 ○「私はどう在りたいのか?」「これは在るべき自分の姿なのか?」という自分の心の声に耳を傾けてみよう。 ○この人生の主人公として「一番輝いている自分」を描いていくために、自分が大切にしていきたいことをノートに書いてみよう。 ○自己の生き方について考える道徳科の学習について簡単に触れ、余韻を大切にしておく。
	定期健康診断	4月19日	2	目標を設定し着実にやり遂げる	目標は小刻みに	A-4希望と勇気、克己と強い意志	小さな目標を設定し、それらを達成していくことで完走することができた「私」の心の動きについて考えることを通して、目標の達成が希望や勇気を生み出すことに気付かせ、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。	○中学校生活における自分の目標を想起させる。 ○スタートを切る前の「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○半分を過ぎて誰ももうろうとなり、機嫌で走っていた時、「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○スタートを切る前と比べて目標に対する「私」の気持ちが変わってしまったのはどうしてだろう。 ○決断後まで待てなかった「私」を支えたものは何だったのだろう。 ○自分の目標への取り組み方について考え、道徳ノートに記入させる。
		4月26日	3	自律的な行動と責任	裏庭のできごと	A-1自主、自律、自由と責任	鳥籠を乗り越えて真実を告げようことを決断した健二への共感的理解を通して、自律的な行動と責任の大切さに関付き、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。	○道徳ノートP4下段のイラストを見て、健二への方向付けを図る。 ○先生に事情を話す間、大輔がガラスを二枚とひなを助けるために割ったことにした時、健二はどう思ったのだろう。 ○次で決断するまでの間に、健二はどのようなことを考えていたのだろう。 ○裏庭に向かって健二は、どのようなことを考えていたのだろう。 ○健二が大切にしようとしたものを一言で表す又何だろう。そう考えた理由も教えてください。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
5		5月10日	4	生命の神秘と尊厳	あなたの「生きようとする力」	D-19生命の尊さ	赤ちゃんの誕生における人体の営みを知り、生命が生きていることの意味について考えることを通して、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的実践意欲を培う。	○道徳ノートP22の解説を範読し、学習課題を提示する。 ○「あなたがいるだけで、周りのみんなにも生きる喜びを幸せをもたらすことができる。」のはどうしてなのだろう。 ○「私たちが自分の方で「生きることを選択取る」ことには、どのような意味があるのだろう。 ○この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じ、考えたかを道徳ノートに記入させる。 ○P21の各行目から教材の終わりまでをもう一度範読し、余韻をもっておく。
	体育祭	5月17日	5	弱さの克服	いつわりのバイオリン	D-22よりよく生きる喜び	ロビンからの手紙に涙をこぼすフランクの心情について考えることを通して、誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的心情を育む。	○バイオリン「職人」についてイメージさせ、題材への意識付けを図る。 ○涙を拭いた後、フランクはどのような気持ちでバイオリンづくりを引き受ける決断をしたのだろう。 ○ロビンのバイオリンに手を伸ばしたフランクが、一瞬手を止めたのはどうしてだろう。 ○生気なくバイオリンをつくるフランクは、どのようなことを考えていたのだろう。 ○手紙の読みと読まれたフランクは、どのような思いで涙を流したのだろう。 ○涙を流したフランクが取り戻したものは何だろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
	中間考査	5月24日	6	異性についての理解	アイツ	B-8友情、信頼	真一と夏樹が仲違いしてから仲直りするまでの心の動きを共感的に理解し、これからの二人のよりよい関係について考えることを通して、異性間においても互いに相手を理解し、よさを認め合うことの大切さに関付き、心から信頼し合える人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。	○「幼なじみ」という言葉から受ける印象をイメージし、題材への意識付けを図る。 ○口をきかない間、真一と夏樹はそれぞれどのようなことを思っていたのだろう。 ○「真一は夏樹のハンカチを何回も触めながら、思いつく例を挙げ、グループで話し合っていたのだろう。 ○同じ日、夏樹は日記にどのようなことを書いたのだろう。 ○これから二人の関係では、どのようなことを大切にしていかなければならないのだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
6		6月3日	7	礼儀の意義	半分おとな 半分こども	B-7礼儀	「礼儀知らず」の人について考えることを通して、心と形が一体となった礼儀の意義に関付き、時と場に応じて適切な行動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。	○道徳ノートに「近頃の中学生の礼儀」について記入させたのち意見交換し、学習課題を意識させる。 ○「礼儀知らず」とはどのような人のことを言うのだろう。思いつく例を挙げ、グループで話し合ってみよう。 ○「礼儀知らず」とは、どのようなことを知らない人なのだろう。 ○礼儀作法は知っていて、気持ちもあるが、それをうまく表現できない「私」は、「礼儀知らず」になるだろうか。 ○礼儀とはどういうものなのだろう。 ○導入での記述を振り返り、自分自身の礼儀を振り返って、感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		6月7日	8	節度を守る	釣りざおの思い出	A-2節度、節制	釣り夢になるあまり門限を破ってしまい、母に釣りざおを折られた「私」の心の動きについて考えることを通して、節度を守り節制に掛かけ、安全で調和のある生活をしようとする道徳的実践意欲を培う。	○自分自身を振り返り、つい・事中になっってしまうことを想起させる。 ○憧れの釣りざおを手に入れた「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○憧れた釣りざおを手に入れた「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○門限を過ぎてしまうことに気付いたにもかかわらず、「私」が釣りをやめなかったのはどうしてだろう。 ○釣りが終わるまで、母はどのようなことを思っていたのだろう。 ○母はどのような思いでせつこの釣りざおを折ったのだろう。 ○この時の出来事から「私」が学んだのはどのようなことだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
	授業公開週間	6月14日	9	いじめを許さない	ヨシト	C-11公正、公平、社会正義	同調圧力乗り越えて、ヨシトへのいじめに毅然と立ち向かうとするアツシの思いについて考えることを通して、正義と公正さを重んじ、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。	○道徳ノートP4下段の「いじめの機微宣言」を読み、本時の学習課題として「いじめ」を問題提起する。 ○アツシがヨシトにこう言うについて、郷土に出ている「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○聞いてきた真切に振り返りながら、アツシはどのようなことを思っていたのだろう。 ○アツシの腹の底に生じた「何か熱い塊」とは何だろう。 ○ヨシトに「アツシ」を渡しながら、しつこくと断るを上げたアツシは、どのようなことを決意したのだろう。 ○thinkingを讀んだ後、道徳ノートに記入させる。
		6月21日	10	自然愛護に努める	あのハチドリのように ― ワンガリ・マータイ ―	D-20自然愛護	破壊された故郷の自然を目にして立ち尽くすマータイさんの心情と決意について考えることを通して、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。	○P47のプロフィールを参照し、ワンガリ・マータイさんについて簡単に紹介する。 ○小さい頃のマータイさんにとって自然とはどのような存在だったのだろう。 ○神様の木があった場所に立ち尽くしたマータイさんはどのようなことを思っていたのだろう。 ○「私このハチドリなんです。」という言葉には、マータイさんのどのような思いが込められているのだろう。 ○自然環境を守るために自分ができることについて道徳ノートに記入させる。
		6月28日	11	自己を向上させる努力	木箱の中の鉛筆たち	A-3向上心、個性の伸長	箱から出ていた筆が、父の誕とちび鉛筆が詰まった木箱から感じ取ったことについて考えることを通して、自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする道徳的実践意欲を培う。	○「この人の才能はすごいな」と思う人を発表させ、学習課題を意識させる。 ○筆が仕事場の父に声をかけてしまったのは、どのような気持ちからだろう。 ○筆が父に声をかけたことを後悔したのはどうしてだろう。 ○木箱の中の鉛筆たちは、筆室にどのようなことを語りかけているのだろう。 ○「才能」とはどういうものなのだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
7	期末考査	7月5日	12	郷土の発展に努める	アップルロード作戦	C-16郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	多くの困難に立ち向かいながらりんご並木をつくり、受け継いでいく飯田東中学校の生徒たちの思いについて考えることを通して、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員として進んで郷土の発展に努める道徳的実践意欲を培う。	○自然や名産品など、自分の郷土の特色を想起させる。 ○飯田東中学校の生徒たちは、どうして「りんご並木」をつくりたいと思ったのだろう。 ○東中学校の生徒たちの仕事ぶりを見て、町の人々はどのように思っていたのだろう。 ○東中学校の生徒たちが掲げた「理想」とは、どのようなものだったのだろう。 ○半世紀が経った現在、りんご並木の成長は、どのようなことか見えたのだろう。 ○導入で想起したものなどに触れ、自分たちの郷土について話し合ったのち、授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		7月12日	13	命あるものをいとおしむ	曙号の死	D-19生命の尊さ	事故に見舞われた曙号を見守り、最期のひと時をともに過ごす「僕」の心の動きについて考えることを通して、生命の有限性を理解し、命あるものをいととしむ、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。	○本物の馬を見たり、触れたりした経験と想起させ、題材への意識付けを図る。 ○家にやってきた曙号のことを、「僕」はどう思っていただろう。 ○抱いた曙号をつるし上げようとする決意を見守りながら、「僕」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○曙号の死を証言している「僕」は、どのようなことを思っていたのだろう。 ○静かに横たわっている曙号のそばで、「僕」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○曙号をなでた手のひらに、「僕」は何を感じ取っていたのだろう。 ○「僕」が父親の顔に見た「この世で一番輝くもの」とは何だったのか、授業を通して感じたことや考えたことを合わせて道徳ノートに記入させる。
9	文化祭	9月13日	14	公德心	島耕作 ある朝の出来事	C-10遵法精神、公德心	朝の議員電車で起きた出来事について、様々な登場人物の視点から考えることを通して、公共の場において互いに配慮し合い、尊重し合うことの大切さに関付き、社会生活の中で守るべき公徳を重んじ、住みよい社会をつくっていくとする道徳的実践意欲を培う。	○身の回りの公共の場とそこに暮らす人々について想起させ、題材への方向付けを図る。 ○島耕作とセリ・マツの、それぞれの思いや考えを思いつくよう促す。 ○「あなたの気持ちのことを言っている」という島耕作の言いたかったことは、どういうことだろう。 ○この出来事を見ていて老婦人や他の乗客は、どのように感じたのだろう。 ○公共の場で誰もが知ることになるには、どのようなことが大切なのだろう。 ○多くの人がともに過ごす公共の場での言動や在り方について、自分のことを振り返って道徳ノートに記入させる。
	学力推移調査	9月20日	15	伝統文化の継承と発展	音を宿す	C-17我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	どれだけ太鼓の形が変わっても、変わることもないものがあることに気付いた三浦瀬市さんの太鼓作りについて考えることを通して、優れた伝統と文化を育んできた先人たちの努力と精神に関付き、我が国の伝統と文化を尊重し、継承、発展させていこうとする道徳的実践意欲を培う。	○日本の伝統文化やそれに携わっている人を想起させ、学習課題を意識させる。 ○革新的な和太鼓を作った三浦瀬市さんは、どんな自信を深めたのだろう。 ○初期の太鼓が、自分が作った太鼓と音の響きを聞き分けた瞬間、瀬市さんはどのようなことを思ったのだろう。 ○「音を太鼓の中に宿す」とは、どのようなことだろう。 ○「音を太鼓の中に宿す」と、何百年と受け継がれていくのはどうしてだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		9月27日	16	心のあたたかさ	夜のくだもの屋	B-6思いやり、感謝	くだもの屋のあり方に込められたおじさん、おばさんの善意を知った少女の心情を共感的に理解することを通して、相手思いやり、助け合うのよさに気付かせ、思いやりと感謝の念をもって他者と接し、人間愛の精神を深めていく道徳的心情を育む。	○「あかり」からイメージすることを想起させ、題材への意識付けを図る。 ○くだもの屋のあかりを、少女が「なに」といって「あたたかさ」と感じるのはどうしてだろう。 ○少女が思わず涙を流して「ありがとうございました」と言ったのはどうしてだろう。 ○もう一度涙を流しながら、少女は心の中でどのようなことを思っていたのだろう。 ○少女に「くだもの屋のあかりを」「あたたかさ」を「あたたかさ」に見えたのは当然だった」と思うのは、どうしてだろう。 ○この話の中に、出てくる「あかり」を探してみよう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
10	生徒会役員選挙	10月4日	17	社会参画と社会連帯	加山さんの願い	C-16社会参画、公共の精神	雨の中で傘を持ったまま歩き続ける加山さんが気付いたことについて考えることを通して、互いに助け合い励まし合う社会連帯の大切さに関付き、社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	○これまで経験したボランティアについて想起させ、学習課題を意識させる。 ○初期ボランティアを始め加山さんの「今の自分の思い」とはどのような思いだったのだろう。 ○雨の中や雨に濡れながら、加山さんがボランティア活動で雨に濡れたのはどうしてだろう。 ○加山さんが雨を止めてしまおうとしたことができたのはどうしてだろう。 ○雨の中で傘を持ったまま、加山さんはどのようなことを考えていたのだろう。 ○社会生活において、互いに助け合い支え合っていることは、どのようなことが大切か、道徳ノートに記入させる。
		10月11日	18	新しいものを生み出す	ミスター・ヌードル ― 安藤 百福 ―	A-5真理の探究、創造	誰もが見えなかったアイデアを生み出し、それを創り上げた安藤百福さんの生き方について考えることを通して、想像力を働かせ、好奇心・探究心をもって探究することの大切さに関付き、真理を探究して新しいものを生み出すことや努める道徳的実践意欲を培う。	○イースタンド・ラーメンの発明に関する話であることを紹介し、題材への意識付けを図る。 ○「僕」が「僕」の人生で一番大切なことになった安藤百福さんは、どのようなことを思っていたのだろう。 ○どのように考えて、安藤さんは「魔法のラーメン」の開発を決めたのだろう。 ○開発が継続し、雨の中、頭を悩ませ考え続けていた安藤さんは、どのようなことを思っていたのだろう。 ○安藤さんが、どこで何をしていたのか、どうしてだろう。 ○自分にも安藤さんのような好奇心や探究心があるか聞いていかなければならぬ。授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		10月18日	19	家族の深い愛	美しい母の顔	C-14家族愛、家庭生活の充実	壊っていた母のやけど跡ができた理由を知って、涙を流す「私」の心情を共感的に理解することを通して、深い愛情をもって育ててくれた家族に感謝し、敬愛の念をもつ道徳的心情を育む。	○「きれいな顔」と「美しい顔」がどのように違うのか、問いを投げかけて教材に入る。 ○「私」は、母のことをどのように思っていたのだろう。 ○母を学校から連れ戻した日、「私」はどのようなことを思っていたのだろう。 ○父の顔を思い出した「私」は、あとから、あとと涙を流しながら、どのようなことを思っていたのだろう。 ○「私」が、母の顔をきれいな顔のお母さんよりも美しいと思えるのはどうしてだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
11		11月1日	20	法やきまりの意義	人に迷惑をかけなければいいのか?	C-10遵法精神、公德心	駐車場の出来事を振り返る「僕」の考えの変化について考えることを通して、法やきまりが自他の生活や権利を守るためにあることに気付かせ、法やきまりを遵んで守り、規律ある社会の実現に努める道徳的判断力を高める。	○法やきまりについて自分の考えを振り返らせ、道徳ノートに記入させる。 ○「まさか守らなければいけない」と先に言われた時、「僕」はなぜ納得できなかったのだろう。 ○駐車場の出来事と法やきまりの関係を振り返り、「僕」は、どのようなことを後悔したのだろう。 ○先生の分厚い手がかりに熱く感じられた時、「僕」はどのようなことを考えていたのだろう。 ○「僕」がこの出来事を通して気付いたことと、一番心に残ったのはどのようなことだろう。 ○導入での自分の考えを振り返らせ、授業を通して新たに感じたことや考えたこと、改めて大切にしたいことを道徳ノートに記入させる。
		11月8日	21	温かい思いやり	地下鉄で	B-6思いやり、感謝	筆者が感じた「少女たちの中にある美しさ」について考えることを通して、他者を思いやり、親切にし、いたわりやすくなることよさに気付かせ、思いやりや温かい人間愛を大切にする道徳的心情を育む。	○「温かい」という言葉のイメージを想起させる。 ○電車の空気に少女の一人が覗いたのを見て、筆者はどのように顔を覗いたのだろう。 ○少女たちの行動が、お年寄りの女性の座を取るためだったと分かった時、筆者は心の中でどのようなことを思ったのだろう。 ○少女たちからは、どうしてこのような「作戦」を立てたのだろう。 ○筆者が感じた「少女たちの中にある美しさ」とは、どのようなものだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		11月15日	22	支え合い、励まし合う友情	吾一と京造	B-8友情、信頼	教室の前で立たされている京造の姿を見て心が揺れる吾一の葛藤について考えることを通して、互いを支え合い、励まし合う友情の大切さに関付き、心から信頼する友達関係を築こうとする道徳的態度を養う。	○友達とはどのような存在かを想起させる。 ○みんなの前から振って学校へ行く吾一は、どのようなことを思っていたのだろう。 ○京造の姿を見て、京造の姿を見て、吾一はどのようなことを思っていたのだろう。 ○正しいことを上と知っているのに、心で京造の姿のように揺れる吾一は、どのようなことを考えていたのだろう。 ○吾一はこれから京造や友達とどのような友情を築いていくのだろう。 ○友達はどのような存在か、授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		11月22日	23	国際理解、国際貢献	国際協力ってどういうこと?	C-18国際理解、国際貢献	二つの作文のエピソードに対する自己の判断やその理由について考えることを通して、国際的視野に立つて他国を理解することの大切さに関付き、日本人としての自覚をもって国際理解、国際貢献に努める道徳的実践意欲を培う。	○ネパールとエチオピアの位置を地図で確認し、教材に入る。 ○二つの話で、ネパールの暮らしとエチオピアの暮らしの違いを分けることはいいことだろうか。理由を含めて考えてみよう。 ○二つの話で、エチオピアの暮らしについて、自分の経験を半分あげることはいいことだろうか。理由を含めて考えてみよう。 ○二つの話と二つの話は、同じように考えていいことなのだろうか。それとも違うことなのだろうか。 ○「本物の国際協力」には、どのようなことが大切なのだろうか。 ○これから他国の人々を援助する上でどのようなことを大切にしていきたいか、道徳ノートに記入させる。
	授業公開	11月29日	24	誠実に責任をもつこと	ネット将棋	A-1自主、自律、自由と責任	敏和、明子、智子の話を聞いて、「僕」が気付いたことについて考えることを通して、誠実に自己の責任を受け止めることの大切さに関付き、律の精神を重んじ、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。	○ネット将棋について簡単に紹介し、教材に入る。 ○ネット将棋で、「僕」はどのようにしていきなりログアウトするのだろう。 ○「三つのやり取りを聞いて気づかなかった「僕」は、どのようなことを考えていたのだろう。 ○「敏和が「ありがとうございました」とお礼を言ったのどうしてだろう。 ○明子が言う「負けました」と告げる試合をするとは、どういうことだろう。 ○今日の授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。

12		12月13日	25	公平であること	ある日のバターボックス	C-11公正、公平、社会正義	生き生きとソフトボールをするひとと子供たちの姿に触れた筆者の心情について考えることを通して、誰に対しても公平であることのよさや大切さに気づき、差別や偏見をなくし、誰もが生き生きとできる社会の実現に努める道徳的態度を養う。	○本時の題材が「ある先生がいつまでも忘れられない出来事」であることを紹介する。 ○筆者はどのような考えから、体育の時間にひとに補助的な役割をさせていたのだろう。 ○体育の時間に、Oさんがつまらなそうにしていて、いつも生気がなかったのはどうしてだろう。 ○Oさんに対して、クラスメートたちが真剣で、手加減をしないのはどうしてだろう。 ○Oさんの表情が生き生きとして、喜びがあらわれているのはどうしてだろう。 ○筆者がこのバターボックスでの出来事を、いつまでも忘れられないのはどうしてだろう。 ○公平な社会とはどのような社会か、道徳ノートに記入させる。
		12月20日	26	良心の声	銀色のシャープペンシル	D-22よりよく生きる喜び	本当のことを言い出すことができず葛藤する「僕」の心の動きについて考えることを通して、自己の弱さや働きと向き合い、それらに打ち勝つ良ゑの声を自覚して、よりよく生きる喜びを見出そうとする道徳的実践意欲を培う。	○P125の「学習の手がかり」に触れ、「自分のずるさ」とはどのようなことか、具体的にイメージさせる。 ○「僕」はどうして正直に言い出せなかったのだろう。理科の時間、授業後、卓也からの電話、それぞれの場面で考えてみよう。 ○卓也からの電話を受けて、「僕」の顔が真っ赤になったのはどうしてだろう。 ○思いやりを呼び喚して、卓也の家の方へゆっくりと向きを変えた時、「僕」は心の中でどのようなことを思っていたのだろう。 ○「僕」を卓也の家に向かわせたのは何だろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		12月23日	27	勤労の尊さや意義	午前一時四十分	C-13勤労	家族に止められても新聞配達を続ける母が働く理由について考えることを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的実践意欲を培う。	○「午前一時四十分」というタイトルに触れて、何の時間かを想像させる。 ○話の中で、母が働いたのはどのようなところだろう。理由と一緒に考えてみよう。 ○死を目前にした父が母に「夜中の折り込みだけはやめなさい。」と言ったのはどうしてだろう。 ○母はどうしてこまでして働くのだろう。 ○人が働く理由について、道徳ノートに記入させる。
1	課題テスト	1月10日	28	かけがえのない生命	語りかける目	D-19生命の尊さ	母の遺骨を「ナベ」に入れ、語りかける少女の目に宿る思いについて考えることを通して、限りある生命のかけがえのなさを理解し、自他の生命を尊重しようとする道徳的態度を養う。	○P133「考える・話し合う」を参照して、阪神・淡路大震災について確認する。 ○少女が働く理由が「ナベ」にどうして入ったのはどうしてだろう。 ○「ありがと。もう逃げない。」という言葉を聞いて、少女はどのような思いで逃げたのだろう。 ○少女はどのような思いで母を探し続けたのだろう。 ○少女の哀しくも、美しく、強く、そして生きている目には、どのような思いが宿っているのだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		1月24日	29	思いやりと感謝	旗	B-6思いやり、感謝	バッチワークのクラス旗を掲げて少女を励まそうとするクラスメートの思いを共感的に理解することを通して、思いやりの心をもって人と接し、絆を深めていこうとする道徳的実践意欲を培う。	○少女の置かれている状況と心情を想像させ、教材に入る。 ○少女から、いつもレモン色の服ばかり見ているという話を聞きながら、友達はどのようなことを思ったのだろう。 ○少女を訪ねた友達の話を聞いて、クラスメートはどのような思いを込めてクラス旗を掲げたのだろう。 ○少女が「この町に引っ越してきてよかった」と心から思ったのはどうしてだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
2		2月7日	30	希望と勇気をもって生きる	終わりのなき挑戦 ― 成田 真由美 ―	A-4希望と勇気、克己と強い意志	大きな困難を乗り越えて挑戦を続けようとする成田真由美さんの強い意志について考えることを通して、希望と勇気をもって生きることの大切さに気づき、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越え、着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。	○P147のプロフィールを参照して、成田真由美さんについて簡単に紹介する。 ○母が悪いわけではないのに、成田さんが呼びを止められなかったのは、どうしてだろう。 ○「病院に行く」といっはつまりおし目標ができて、成田さんがだんだん家わっていったのは、どうしてだろう。 ○事故で大きな怪我を負っても「また泳ぐ」「きっとまた泳げる」と成田さんが思えたのは、どうしてだろう。 ○成田さんにとって「挑戦」とはどのようなものなのだろう。 ○授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		2月14日	31	人間としての誇りある生き方	よみがえった良心	D-22よりよく生きる喜び	すべてを捨てることになってもアガサを助けることを選んだジミーの思いについて考えることを通して、人間には気高く生きようとする心があることを理解し、人間としての誇りある生き方を見出そうとする道徳的実践意欲を培う。	○道徳ノートP25上段を読んで、「良心」を学習課題として提示する。 ○ジミーが戦慄になろうと決心したのは、どのような思いからだろう。 ○正体がばれて捕まるかもしれないのに、ジミーが銀行の金庫室を開けようとしたのは、どのような思いからだろう。 ○ベンがジミーを「スベンサーさん」と呼んで、捕まえたのはどうしてだろう。 ○ジミーの「良心」は、ジミーのどのような思いに表れているのだろう。 ○自分に恥じない生き方、人間としての誇りある生き方とはどういうものなのか、授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		2月21日	32	支え合う家族	ふたりの子供たちへ	C-14家族愛、家庭生活の充実	「私」が「ふたりの子供たちへ」の手紙に込めた思いについて考えることを通して、家族が互いに愛情をもって支え合うことの大切さに気づき、家族への敬愛を深め、家庭の一員として充実した家庭生活を築こうとする道徳的実践意欲を培う。	○「私」の病状を確認し、余命僅ばくもない状態で書いた手紙であることを伝える。 ○死を前にして痛みに苦しむ「私」を支え続けていたものは何だろう。 ○「目には見えませんが、私はいつでも生きている」という言葉には、どのような思いが込められているのだろう。 ○「再婚させてあげなさい」という言葉にはどのような思いが込められているのだろう。 ○「家の中に灯がともった」家族とは、どのような家族だろう。 ○死を前にして痛みに苦しみながら、「私」はこの手紙にどのような思いを込めて書いたのだろう。 ○Thank you♡を読んで、余韻をもって終わる。
3		3月14日	33	認め合う心	言葉の向こうに	B-9相互理解、寛容	自分のコミュニケーションの在り方を振り返る加奈子の気付いたことについて考えることを通して、人それぞれにいろいろなものの方・考え方があることを理解し、寛容の心をもって他者と接していく道徳的判断力を高める。	○インターネットで他人のコメントを読んだ経験などを想起させ、インターネット上の情報がたくさんの人目に触れることを確認する。 ○ファンサイトにアクセスしている加奈子は、何が楽しいのだろう。 ○必死で反論する加奈子の言葉が、段々エスカレートしていくのはどうしてだろう。 ○突然真っ暗な世界に一人突き落とされたように感じた加奈子は、どのようなことを思っていたのだろう。 ○画面から目を通して相手の顔にもたれて考える加奈子は、どのようなことを発見したのだろう。 ○道徳ノートP18の相田みつを氏の詩を読み、自分の心を見つめさせる。授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。
		3月21日	34	感動、畏敬の念	ガジュマルの木	D-21感動、畏敬の念	道徳を覆うガジュマルの木に衝撃を受けたコウヘイの心を共感的に理解することを通して、美しいものや気高いものに感動する心、人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。	○自分の知っている道徳を想起させ、題材への意識付けを図る。 ○アンコール・ワットを見て回りながら、コウヘイはどのようなことを思っていたのだろう。 ○ガジュマルの木を一目見た瞬間、動けなくなったコウヘイはどのようなことを思ったのだろう。 ○大きく息をつきながら、コウヘイはどのようなことを考えていたのだろう。 ○アンコールの方を眺めながら、コウヘイはどのようなことを考えていたのだろう。 ○人間は、心を傾きふられるような体験をしたとき、言葉を失ってしまったり、涙が出たりするのはなぜか、道徳ノートに記入させる。
		3月17日	35	よりよい学校生活	二枚の写真	C-15よりよい学校生活、集団生活の充実	病室の窓に手を振る同級生たちの思いについて考えることを通して、人々の心が一体となった学校のように気づき、学校の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい学校生活をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。	○学校とはどのようなところかを考えさせる。 ○窓が病室の通足参加を決めたのは、どのような思いからなのだろう。 ○窓が到着するまで、同級生たちが弁当に手を付かなかったのはどうしてだろう。 ○廊上の同級生たちは、どのような思いで病室に手を振っていたのだろう。 ○窓はどのような思いで「写真を撮ってください」と頼んだのだろう。 ○「学校とはなんなのか」という問いに、窓下が出した答えとは何だったのだろう。 ○学校とはどのようなところか、授業を通して感じたことや考えたことを道徳ノートに記入させる。